

2018年10月29日

エルピクセル株式会社の株式取得について
～内視鏡／顕微鏡画像診断支援のAI技術開発を強化～

オリンパス株式会社(社長: 笹 宏行、以下オリンパス)は、東京大学発のベンチャー企業であるエルピクセル株式会社(本社: 東京都千代田区、代表取締役: 島原佑基、以下エルピクセル)の第三者割当増資を引受けることで合意し、エルピクセルとの間で株式引受に関する契約を締結しましたのでお知らせいたします。

1. 第三者割当増資引受の理由

オリンパスは、AI・IoT分野を戦略的注力領域にあげ、医療領域と科学領域において、その関連製品・サービスを提供することに注力してまいりました。エルピクセルは、ライフサイエンス領域の画像解析ソフトウェア・システムに強みを持つ東京大学発ベンチャー企業として、医療画像診断支援技術の研究開発に注力しており、これまでも、オリンパスの内視鏡／顕微鏡画像診断支援のAI技術開発において、両社による共同研究を進めてまいりました。

エルピクセルが、同社ソフトウェア・システムの開発・製品化を加速させるべく第三者割当増資を検討する一方で、オリンパスは、エルピクセルのAI技術は当社の事業領域に親和性が高く、両社の保有する膨大な画像情報を活用することにより、オリンパス製品のAI技術開発を強化することが可能と判断いたしました。今回の第三者割当による新たな出資に伴い、エルピクセルとオリンパスは、今後の業務提携も視野に入れ、新たな協力体制についても協議を進めてまいります。

2. エルピクセルについて

エルピクセルは、ライフサイエンス領域の画像解析に強みを持つ東京大学発のベンチャー企業です。医療・製薬・農業などのライフサイエンス領域に対して画像解析技術とりわけ人工知能技術を応用することで、高精度のソフトウェアを開発してきました。現在、東京大学や国立がん研究センターをはじめ複数の医療機関と連携し、人工知能を活用した医療画像診断支援の研究開発を進めています。

エルピクセルとオリンパスは、早期にAI支援製品を導入することにより、医療、科学領域において効率的な画像診断支援に貢献してまいります。